



平成29年12月分 大分税関支署管内貿易概況

平成30年2月8日
門司税関 大分税関支署

県全体の貿易額

輸出額は734.9億円、前年同月比30.8%増、15か月連続のプラス
映像機器、鉄鋼、有機化合物などが増加
船舶類などが減少

輸入額は1,265.5億円、前年同月比40.9%増、3か月ぶりのプラス
原油及び粗油、石炭、液化天然ガスなどが増加
銅鉱などが減少

主要品目 (単位：百万円、%)

輸 出	価 額	前年同月比	構成比	輸 入	価 額	前年同月比	構成比
有機化合物	10,098	114.8	↑	鉄鉱石	15,094	110.4	↑
鉄鋼	23,688	117.1	↑	銅鉱	21,804	87.5	↓
銅及び同合金	7,317	104.9	↑	石炭	21,827	193.9	↑
事務用機器	9,873	110.4	↑	原油及び粗油	27,489	205.5	↑
映像機器	11,652	831.5	↑	揮発油	7,120	118.5	↑
船舶類	4,520	98.0	↓	液化天然ガス	12,978	119.9	↑

港（通関官署）別の状況 （詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照）

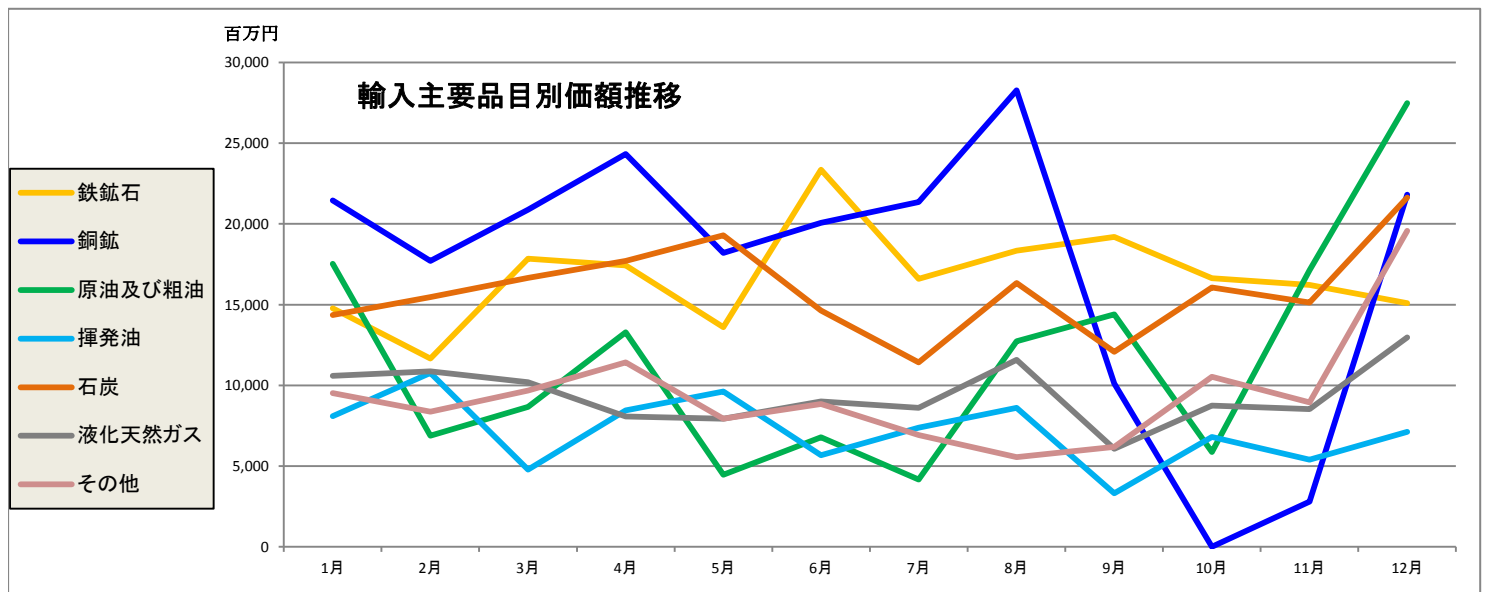
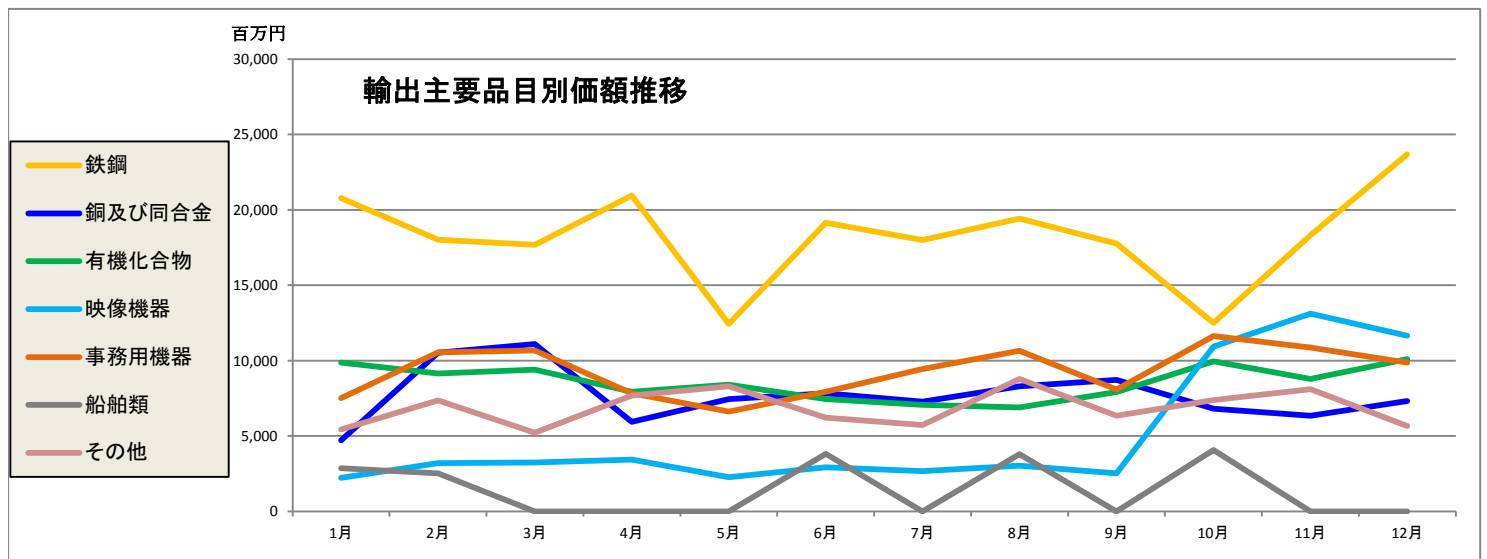
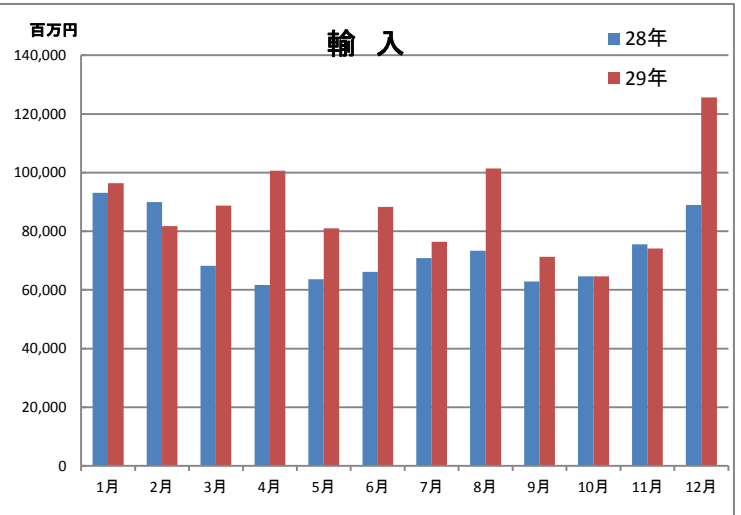
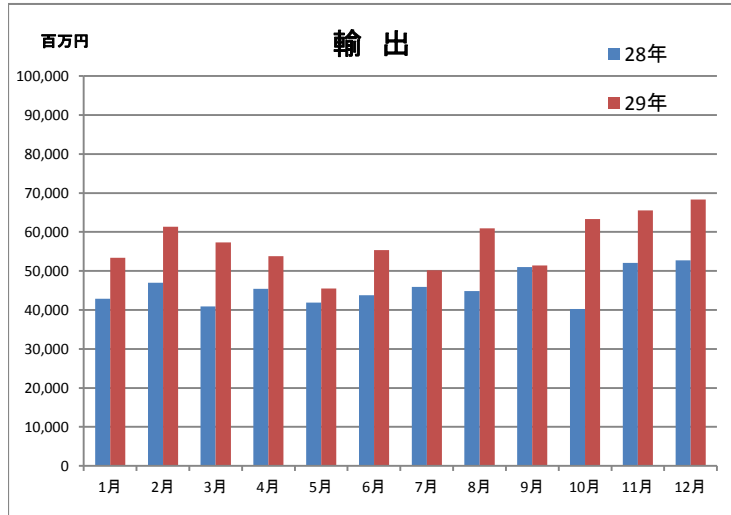
- 大 分）輸出は683.0億円、前年同月比29.6%増。映像機器、鉄鋼、有機化合物などが増加
輸入は1,256.8億円、前年同月比41.3%増。原油及び粗油、石炭、液化天然ガスなどが増加
- 佐 伯）輸出は16.2億円、前年同月比32.7%減。船舶類、荷役機械が減少
輸入は2.7億円、前年同月比2.4%減。植物性油かす、魚介類が減少
- 津久見）輸出は35.7億円、前年同月比3.3倍。船舶類などが増加
輸入は5.9億円、前年同月比2.9%増。アルコール飲料、石油コークス、石炭が増加
- 大分
空港）輸出入実績なし

港 名（通関官署） (単位：百万円、%)

区 分	輸 出				輸 入				差引額	
	価 額	前年同月比			価 額	前年同月比			出・入超	価 額
大 分(大 分)	68,297	129.6	↑	14か月連続のプラス	125,680	141.3	↑	3か月ぶりのプラス	入超	57,384
佐 伯(佐 伯)	1,623	67.3	↓	2か月ぶりのマイナス	273	97.6	↓	3か月連続のマイナス	出超	1,350
津久見(津久見)	3,571	327.9	↑	3か月ぶりのプラス	593	102.9	↑	2か月ぶりのプラス	出超	2,977
大分空港(大分空港)	-	-			-	-			-	-
大 分 県	73,490	130.8	↑	15か月連続のプラス	126,547	140.9	↑	3か月ぶりのプラス	入超	53,057

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。
※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。
※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課
シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>
税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>